

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第27回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第27回〕

2. 開催日時 令和5年10月4日（水） 19時00分から19時40分まで

3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室

4. 出席者氏名

【松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員】※敬称略

松下重幸、小嶋喜美雄、宮下保、大澤勲、福澤友安、唐沢寛文、下澤義彦、坂本勇治、
中平文夫、寺沢秀文、松下敏章、高坂龍夫、小澤文人、宮沢喜好、熊谷誠、増澤あけみ、
吉澤裕、松浦善文、北原俊秀

【JR 東海】

中央新幹線長野工事事務所 杉浦所長、小池副所長、黒澤係長、齋藤主任
// 大鹿分室 水上分室長、水野主任

【長野県】

飯田建設事務所 リニア整備推進事務所 大島企画幹兼調整課長、井原課長補佐

【役 場】

北沢町長、黒澤副町長、小沢課長、大蔵主任

5. 議題

(1) 前回会議内容からの経過報告（県・町）

(2) 発生土運搬について

JR東海より

- ①大鹿村内リニア工事進捗状況
- ②発生土運搬車両の運行状況
- ③環境測定の結果
- ④その他

(3) 質疑応答

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

7人

8. 会議資料の名称

- ・会議次第（町作成）
- ・別冊資料（JR 東海作成）

9. 会議の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 会議事項
上記のとおり
- (4) その他
移動コンテナ局測定結果について
公募委員について
- (5) 閉会

10. 会議録

(小沢課長)

お時間となりましたので進めさせていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきますリニア対策課の小沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは開会を松下副委員長お願いいたします。

(松下副委員長)

皆様こんばんは。これより第27回松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を開催します。

(小沢課長)

それでは2番の挨拶ということで、中平委員長お願いいたします。

(中平委員長)

改めましてこんばんは。ご案内申し上げましたところ、昼間のお忙しいお仕事の後の集まりということでもありますけれども、皆さんお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

9月までは猛暑日とか真夏日とかいう日はずいぶん続きましたけど、10月に入りました途端に非常に朝夕がめっきり涼しくなりまして、秋らしくなってきました。報道によりますと、今日は北海道で初冠雪ということでもあります。

このところ、何となく日本の気候も春・秋が非常に短いような気がしております。そう思うのは私だけでしょうか。多分皆さんもそのように思っらっしゃると思いますけど、今までは春夏秋冬、季節折々にいろいろ変化がありましたけど、日本の季節も夏と冬と、春と秋が非常に短いというような気がしております。

こんなときは非常に体の調子も悪くなりますけど、皆さんもご自愛なさっていただければと思っております。本日は会議事項ということで(1)と(2)がありますので、ぜひ皆さんの忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、今日1日よろしくお願いいたします。

(小沢課長)

それでは北沢町長お願いいたします。

(北沢町長)

改めましてこんばんは。第27回リニア中央新幹線建設工事対策委員会ということで、今委員長

申しましたけれども、お仕事の後の大変お疲れのなかお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今日の会議事項の経過報告にもございますけれども、前回の 26 回の委員会の中で、国道林叟院さんの前の舗装の関係の話等々ありましたけれども、長野県飯田建設事務所様には、早速対応いただきまして本当にありがとうございます。

またこれも前回の委員会の中で出ましたけれども、リニアに試乗してみたいという声が委員の皆さんから出ました。これも早速対応いただきまして、この 9 月 29 日に、当初 30 名の予定でしたが、42 名という大勢の町民の皆さんが試乗することができました。これにつきましてもお礼申し上げます。大変にありがとうございます。

リニアにつきましては様々な課題もありますし、問題があるところもございます。ただ開業することによって、この地域の未来が明るいものになってくることに期待をするばかりでありますし、それにつきまして、JR 東海それから県の皆様と協議する中で、最も良い方向へ皆さんともに進んでまいりたいと思っておりますので、本日も大変お忙しい中申し訳ございませんけれども、よろしく願いいたしまして、挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(小沢課長)

続きまして JR 東海より、中央新幹線長野工事事務所杉浦所長、お願いいたします。

(JR 東海 杉浦所長)

皆さまこんばんは。JR 東海中央新幹線長野工事事務所長の杉浦です。本日はお忙しい中この対策委員会において、我々の方からご説明をさせていただけるお時間をいただきまして誠にありがとうございます。

また委員の皆様におかれましては、日頃より中央新幹線の建設事業にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。先ほど町長もおっしゃいましたが、9 月 29 日に、私も現地行きましたが、多くの松川町の皆様にリニアの走行試験、体験乗車をしていただきました。リニアに実際乗ることで素晴らしさを体感していただき、ご理解が深まったのではないかなと感じました。

さてリニアの長野県の工事ですが、8 月の末に飯田市内で新たにトンネルを掘削する現場が 1 つ始まりました。10 月からは天竜川橋梁において、右岸側でも橋脚の工事が始まったということで、県内着々と工事を進めているところでございます。本日は大鹿村内のリニア工事の進捗状況、それから発生土運搬の車両の運行状況、環境測定の結果等をご報告させていただきたいと思っております。

またご説明の後には、皆様からご意見、あるいはご質問等を承って、より理解を深めていただければというふうに考えております。今晚もどうぞよろしくお願いいたします。

(小沢課長)

続きまして、長野県より飯田建設事務所リニア整備推進事務所調整課大島課長お願いいたします。

(リニア整備推進事務所 大島課長)

皆様、こんばんは。長野県リニア整備推進事務所調整課長大島でございます。本日、委員の皆様につきましては、ご多用のところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。また日頃よりリニア関連事業につきましても、ご理解ご協力の方賜りまして誠にありがとうございます。本日

もよろしくお願ひいたします。

(小沢課長)

それでは、これより会議事項に入りますが、対策委員会設置要綱第 5 条に、会議は委員長が議長となるということから、中平委員長の進行でお願いをいたします。

(中平委員長)

はいそれでは早速でありますけれど、3 番の会議事項に入りたいと思います。

(1) の前回会議内容からの経過報告並びに (2)、発生土運搬について関連性がありますので一括して説明をお願いしたいと思います。それでは、まず最初に前回の会議内容からの経過報告を小沢リニア対策課長お願いします。

リニア整備推進事務所調整課井原課長補佐および小沢課長より、前回会議内容からの経過報告(県・町)について、資料 4・5 ページに基づき説明

(中平委員長)

はいありがとうございました。続きまして、(2) の発生土運搬について JR 東海さんからご説明をお願いします。

JR 東海斎藤主任より、(2) 発生土運搬について別冊資料に基づき説明

(中平委員長)

ありがとうございました。両方の説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますのでよろしくお願ひします。何かご質問等々のある方は挙手をお願いしたいと思います。ございませんか。はい。それでは北原さんどうぞ。

(北原委員)

先日、リニアの試乗ということで、言った本人はもう入院されてしましまして、夢が叶わなかったです。御霊行く方が近いって自分で言っておるので残念ですが、やはり継続をしていただきたいというのは、やはり希望のある年代から考えても、無料でなくても私はいいと思います。やはり、最小の経費は当然かかるわけなので、全額 JR 東海さんに見てもらうではなくて、町としても、どう考えて今後こういう形をとっていかによってもそうですが、交通費の一部負担はあるべきではないかなと。

その代わりに、期間がまだ 10 年余ということになれば、全町民対象に何ヶ月に 1 回ぐらい募集をかけて、できる限りの数の多く高齢者の皆さんから、そういう希望をかなえてあげてやってほしいと思います。私も都留市へは、週一ぐらい仕事で行っており、貸切バスのナンバー拾っていくとかなり他県から入ってきておるようですが、若い人たちは乗るチャンスは当然あるわけですよ。年寄りには機会がもう正直ないと思う。

そういうところは JR さんの方で、どういう配慮ができるかどうかは、お願ひをするしかないですが、ぜひそういうところを考えた中で、前回お願ひしたように、松川町は特別な恩恵はこれ以上ないということなので、ぜひそこらを考慮していただいて、募集を継続して行っていただきたい旨をお願いしたいと思います。

先ほどの国道の件も、この公募委員をやって 1 年半ちょっと過ぎましたけども、ずっと言い続けまして、やっと舗装をかけていただきました。前も話したように、あの下に寝て眠っておられる遺骨の上に蓋をかけていただいたということで、おそらく安らかに眠っておられると思います。重ねてお礼申し上げます。

(中平委員長)

試乗の件はいかがですか。

(JR 東海 小池副所長)

JR 東海長野工事事務所小池と申します。よろしく申し上げます。一つ目のご質問いただきました試乗の件ですけれども、これから冬にかけて、そもそも試乗の機会がないため、その点ご承知おきいただきたいのと、その後については、試験の状況を見ながら、こちらとしても検討させていただきたいと思います。

(中平委員長)

ありがとうございます。またぜひお願いしたいと思いますけど。北原さんよろしいですか。はい、ありがとうございます。他にはございませんか。どうぞ。

(北原委員)

本日欠席ですが本当はもう 2 人公募委員がいます。この 1 年半を通して、いろいろ意見をいろいろ指摘するのは 3 人が一番主でやってきました。メンバーを見ましても、地域の区長さん以下、役職をお持ちの皆さんがこれだけこの席においでになって、言葉を発してくれない一つの悲しみをずっと見てきております。

文句を言うわけではなくて、一町民としての感想は今後必要ではないかと思えます。飯田地域行ってもダンプの数はどんどん増えてきてますし、トンネル内の労災に関する工事は、新聞等々でも報道されますが、これは JR 東海さんと下請けさんの注意をもっと厳しくしていただくということですが、我々町民やこの地域の人間は、道路における走行事故っていうのがまずゼロで 10 年間を過ごしていただきたい旨は、前回も JR さんをお願いしました。

まずはご安心をしていただくっていうことであれば、常に乗務員の研修等々についても、徹底していただくことをもう一度お願いしたいと思えます。それで、意見はやっぱり率直に言っていただきたい。意見を言うことにおいて、駄目なもの良いものがはっきりわかるし、町の取り組みも多分変わってくるだろうと思えますので、それをちょっとこの席を借りてお願いをしてまいりたいと思えます。

(中平委員長)

はい、ありがとうございました。

ほかにはございませんか。なければちょっと私の方から一つだけ質問させていただきます。先ほどの説明の中で小渋川の非常口のところで要対策土がトンネルの中に置いてるという話がありましたけど、今後どうするかとか、そういうことも含めてご説明をいただければと思います。

(JR 東海 水上分室長)

はい。大鹿分室の水上でございます。今小渋川の非常口から掘削しているところは、蛇紋岩という岩がたくさん出る所ですが、自然由来の重金属が含まれていない蛇紋岩もあれば、今回のようなホウ素が含まれている蛇紋岩もあるということで、9月11日以降、同じ工区の先進坑でも同じように若干出ておりました。本坑の方でも出てきましたが、まだ対策土の置き場がまだ決まっていなくて今トンネルの中に仮置きをしているという状況です。

対策土につきましては、過去にもこちらで対策土の処理方法についてご説明しましたが、大鹿村で行っている不溶化試験を通じて今後対策土の置き場が決まれば、そういったご説明をさせていただくつもりでございます。今のところ容量もまだそれほど発生していないので、トンネルの中に仮置きをさせていただいております。

(中平委員長)

はい、ありがとうございました。他に何かございませんか。よろしければ、それではこれで質疑応答を終わりにしたいと思います。それでは私の方の司会はここまでとしてその他のところを事務局の方にお返ししますので、よろしくお願いします。

(小沢課長)

はい。4番のその他ということでございます移動コンテナ局の測定結果について大蔵主任の方からご説明をさせていただきます。

移動コンテナ局の測定結果について、資料6・7ページに基づき大蔵主任より説明
公募委員の募集について小沢課長より説明

(小沢課長)

これにつきまして何かご意見はありますでしょうか。ないようですので、先ほども報告いたしましたけども、昨年の令和4年の1月1日から本年5年の12月31日までの2年間を公募委員としてご活躍をいただきました。

西尾明廣様、北原俊秀様、寺沢茂春様、ありがとうございました。まだ任期は3ヶ月ほどございますが、次回の対策委員会を来年の1月に計画をしております。緊急の委員会がなければ、今回の最後というふうになってしまいますので、皆様方にご報告をさせていただきます。大変お世話になりました。

(北沢町長)

最後に一言お願いしたいと思います。何度も何度も重ねてということになるかと思いますが、松川町は大鹿村それから中川村とともにダンプの台数においてはこの地域では一番出発点になる場所と考えております。その中で先ほど北原委員も申しましたけれども、ここにいらっしゃる委員の皆さん、何とか協力しようという思いで、この場所にいてくれると思っておりますけれども、心のどこかにはやはりダンプは大丈夫かなとか、いろんな思いがあります。その中で対策委員会を開いて、ご説明いただいているわけですが、今後とも、JRの皆さんにはご支援等々、また今も協議をさせていただいておりますけれども、今後におきましても、そういった気持ちで松川町は対応しているというところを汲んでいただきまして、更なるご支援等々お願いできればと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(小沢課長)

それでは今日はいつもより早く終わりますけども、5 番の閉会を松下副委員長お願いいたします。

(松下副委員長)

はい。それでは以上をもちまして、第 27 回松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会を閉会いたします。大変長時間にわたりありがとうございました。

(以上)